

【施策評価調査】

施策名	1-5-3	水処理施設の拡充		81	施策目的 政策を推進するには、汚泥等の流入量の増加に伴い汚水処理施設を整備する。
		高根沢町地域経営計画2006 該当ペー			
担当部課	建設産業部上下水道課	担当 リーダー	建設整備担当 阿久津幽樹		
環境変化	特になし				施策内容 公共下水道汚水管整備の進捗に併せて、「宝積寺アクアセンター」、「仁井田水処理センター」の汚水処理機能の拡充を図ります。

指標

施策の評価指標	基準値	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
指標：汚水処理機能の拡充	平成16年度末 仁井田水処理センター-現有汚水 1池 750m ³ /日	計画 実績	平成17-18年度 1 池増設 平成17-18年 度 1池増設				
指標：汚水処理機能の拡充	平成16年度末 宝積寺アクアセンター-現有汚水処 1池 1,400m ³ /日	計画 実績	詳細設計	脱水機増設	脱水機増設完了		
指標：		計画 実績			1台		
指標：		計画 実績					
指標に関する特記事項	宝積寺アクアセンターから発生する余剰汚泥を絞る脱水機の増設台数						

施策に係る事業費(傘下事務事業費計)の推移	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
	当初	83,620,000	161,400,000	31,021,000		
決算	83,590,500	62,640,000	114,980,000			

事務事業事後評価 20年度の検証

施策傘下事務事業	事業費	活動量(アウトプット)	施策への貢献度	施策達成にどう貢献しましたか？(アウトカム)			
宝積寺処理区水処理施設建設費	当初 31,021,000	汚泥処理棟建築 汚泥処理棟に入る汚泥脱水機の台数	A	アクアセンターの流入汚水量の増加に伴い余剰汚泥も増加するため、脱水機を増設したことで3池(現有2池)までの余剰汚泥を処理することができ、安定した水処理の確保に繋がった。			
	決算 31,020,000	1棟 / 1台		今後の方向性(自己評価)	継続	今後の方向性(総合評価)	継続
宝積寺処理区水処理施設建設費 繰越明許	当初	汚泥処理棟建築 汚泥処理棟に入る汚泥脱水機の台数	A	アクアセンターの流入汚水量の増加に伴い余剰汚泥も増加するため、脱水機を増設したことで3池(現有2池)までの余剰汚泥を処理することができ、安定した水処理の確保に繋がった。			
	決算 83,960,000	1棟 / 1台		今後の方向性(自己評価)	終了	今後の方向性(総合評価)	終了
	当初			今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)	
	決算	/		今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)	
	当初			今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)	
	決算	/		今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)	
	当初			今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)	
	決算	/		今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)	

施策事後評価 20年度の検証

自己評価	施策達成状況に関する評価	課題と今後の方向性
	<p>前年度の建築基準法改正に伴う設計内容の確認に時間を要し、発注時期が遅れ工事費について繰越が発生したものの、当初工期である平成20年9月には工事を完成させることができた。</p> <p>汚水の流入量増加に対応できる汚泥の処理能力を有することになり、安定した水処理が可能になった。</p>	<p>下水道の利用が増加していることから汚水の流入量も増加し、平成23年度末には汚水処理槽の処理能力(2池)より流入量が上回ることが予測されるので、処理槽の増設を行ないます。</p> <p>平成21年度には、処理槽増設に必要な実施設計を行い、平成22・23年度の2か年度で増設工事を実施します。</p>
総合評価	<p>継続的に施策展開されていると評価する。後期計画に向け、財政状況を勘案した、効率的な整備計画を策定すること。また、成果指標についても見直しを行うこと。</p>	